



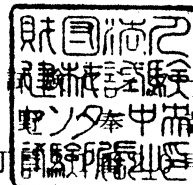
受付第05A3199号
受付日：平成18年 1月27日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成18年 4月14日

財団法人 建材
中央試験所長 勝
埼玉県草加市稲荷5丁



試験名称	床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84番9号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と柱との止め付け部に使用する金物 取付位置：横架材から高さ188mmの位置で壁体内（図-1参照） 取付方法：筋かいの内側に設置 寸法：50×116×110mm，厚さ2.3mm（図-3参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 木ねじ：クリ皿ビス 5.5×45，筋かい側7本，柱側8本使用 長さ：45mm，ねじ部の長さ38mm，ねじ部の外径：5.5mm 谷の径：3.4mm，ねじ山のピッチ：3.1mm，ねじ先の形状：とがり先 材質：SWRCH18A (JIS G 3507) 表面处理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 3. 使用軸組（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m） 梁：樹種：べいまつ，寸法：105×180mm，柱及び土台：樹種：すぎ，寸法：105×105mm 間柱：樹種：すぎ，寸法：30×105mm，筋かい：樹種：べいつが，寸法：45×90mm 床合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ28mm 4. 試験体数 3体 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	1mあたりの基準せん断耐力：3.7kN，終局変形角 γ_u の平均値：1/16rad 耐力算定基礎資料等：表-2～表-4 荷重-せん断変位包絡線の比較：図-5 荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-6～図-12 破壊状況：写真-1～写真-4
備考	当該試験結果から，厚さ28mmの床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁は，木造軸組工法住宅の許容応力度設計の2章の2.1「筋かい端部の仕口」による1mあたりの基準せん断耐力は2.94kN以上（筋かい断面45×90mm），かつ，終局変形角 γ_u は1/30rad以上であることが明らかとなったため， 平成12年告示第1460号の一の二に定める接合方法の性能を満足する。
試験期間	平成18年 3月 9日 ～ 10日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 高 橋 大 祐 試験実施者 早 崎 大 洋 一， 守 屋 嘉 晃
試験場所	中央試験所